

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

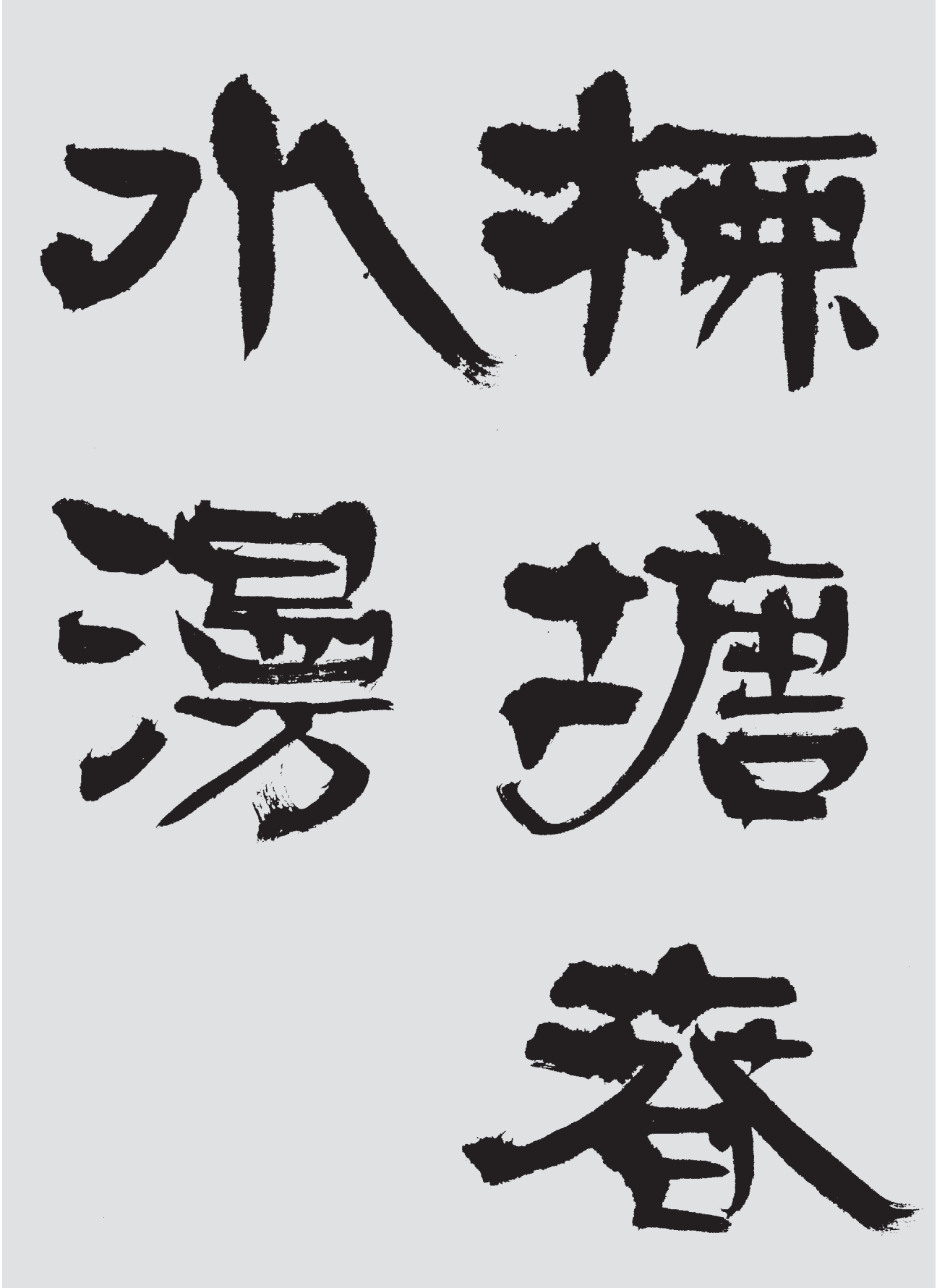


柳塘春水漫（とお）し

高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



柳塘春水漫 (とお) し

高 木 聖 雨 先生

条幅かな

条幅規定

C部 (二段以下)

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)

み山出<sup>み</sup>てまだ里<sup>さと</sup>馴<sup>な</sup>れぬ郭<sup>かく</sup>公<sup>こう</sup>旅<sup>りょ</sup>の空<sup>そら</sup>なる音<sup>ね</sup>をや鳴<sup>な</sup>くらん(修理大夫頭季)

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左側下部に添え書きして下さい。



集字聖教序(東晋・王羲之)

之論或習俗而是非大小之乗乍沿時而降

浮 乗 清 郷 先生

道因法師碑(唐・欧陽通)

賢德鄰將聖揭遊天竺集梵文而爰止旋謁皇



条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(8月10日締切)

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



歴郡右職上

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

郡の右職の上計掾史を歴て

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(8月10日締切)

半紙規定 (二)

九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)



清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書  
〔二級以下〕楷書

九成之宮此

暑を九成の宮に避く、此れ則ち

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(8月10日締切)

条幅参考手本

宿昔青雲志 蹉跎白髮年 誰  
知明鏡裏 形影自相憐

義山

下出義山先生

宿昔青雲志 蹉跎白髮年 誰知明鏡裏 形影自相憐

我行海子橋 不見鏡光閣 惟有青蓮花 涼風吹又落

三宗人

大越三宗先生

我行海子橋 不見鏡光閣 惟有青蓮花 涼風吹又落

条幅参考手本



青木昇堂先生

笑聴萬言語 人稱好好翁 片言斷難許 背戾孝將忠



和泉千泉先生

夏山を 越えて鳴くなる 時鳥 声のはるけき この夕かな

半紙かな（初段以上）

岩いわ  
多た、  
九く

谷たにの  
水みづの  
三さんみ  
於おと  
つづ  
麗麗帝帝

夏なつ  
二二に  
知しら  
れぬ

三さんみ  
山やまの  
邊への  
里さと  
(前参議教長)

支部名 段 姓 号 (鉛筆可)

Handwritten calligraphy in cursive style (sōsho) on a vertical sheet of paper. The characters are fluid and connected, typical of the 'kana' style. The text is written from top to bottom, starting with a large character that looks like '岩' (Iwa) and ending with '山' (Yama).

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。  
※ちらし文字変換は自由

浮 乘 清 郷 先生

(8月10日締切)





実用文（準三段以上）

〈書風任意〉

夏も近づくと十八夜野ほも山ほも若葉が  
 茂るあれに見えるは茶摘どやないか  
 あかねだすきは菅の笠日和つづきの色  
 この頃を心のどかに摘みつつ歌う摘めよ  
 摘め摘め摘まねばならぬ……

支部名    あ    姓    号

田邊玉翠先生

(8月10日締切)

実用文（二段以下）

〈書風任意〉

正義之の書は高道史と最も  
著名だが、そのすべてが双鉤填墨  
か刻帖によるもので、真跡は一点  
も存在しない。  
又部名 段級 姓号

鈴木 翡翠 恵 先生

（8月10日締切）

細 字

※一級〜八級は草書まで。初段以上は隸書まで。

名前は必ず楷書 17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

支部

段級

姓

号

煖	煖	煖	煖
爐	爐	爐	爐
喫	喫	喫	喫
茶	茶	茶	茶
檸	檸	檸	檸
檬	檬	檬	檬
小	小	小	小
片	片	片	片

(8月10日締切)

硬筆（初段以上）

陽射しが強くなり、暑々も本格的に  
なる。七月は女郎花月、七夕月、涼月  
という名前も持っています。また土用波  
入道雲、夕涼み、夕なごなど美しい  
言葉が多い季節です。

支那の 函 姓号

青柳江雲先生

本院定型用紙一枚に書く

おみなえしづきたなほたつきりょうげつ  
女郎花月七夕月涼月

（8月10日締切）

硬筆（4級以下）

支部名 級 姓 号

小暑は二十四節気の一つ、夏至のあと十五日目で、暑さが本格的になる。

本院定型用紙・たて半分に書く

鈴木 蕙 翠 先生

硬筆（1級～3級）

支部名 級 姓 号

小暑は二十四節気の一つ、夏至のあと十五日目で、暑さが本格的になる。

鈴木 蕙 翠 先生

（8月10日締切）

中2用

中3用

支  
部  
名

大 寄

段  
級

波 せ

名

前

る

渡  
邊  
南  
嶂  
先  
生

支  
部  
名

雲 眼

段  
級

海 下

名

前

の

大  
越  
三  
宗  
先  
生

(8月10日締切)

小6用

中1用

支部名

段級

名

前

銀空  
河の

渡  
邊  
南  
嶂  
先  
生

支部名

段級

名

前

の音  
谷川水

渡  
邊  
南  
嶂  
先  
生

(8月10日締切)



小4用

支  
部  
名

段  
級

名  
前

文古  
字ハ

大越三宗先生

小5用

支  
部  
名

段  
級

名  
前

世広  
界ハ

大越三宗先生

(8月10日締切)

小2用

支  
部  
名

段  
級

名  
前

鈴木 翡翠 先生

小3用

支  
部  
名

段  
級

名  
前

鈴木 翡翠 先生

(8月10日締切)

小1・幼年用

支部名

段級

名

前

えら

中 3

夏は湿度が高く、蒸し暑く、  
過ごさにくい。

中 2

青い空に白い雲、夏は  
海の恋しい季節だ。

中 1

軽い運動で汗をかくの  
が、最高の健康法だ。

中1~中3

青柳江雲先生

(8月10日締切)

小1・幼年

はなびうみ  
なつやすみえにつき

小1～小3

小 2

かなつ休み中に  
かんさつをしたい

田 辺 翠 鶴 先生

小 3

夏休みには、  
りよ行に出かけます

小 4

つゆが明け、  
もに夏がやってくる

小4～小6

小 5

さあ夏だ。  
ず、海で泳ぎます

齊 藤 翡 流 先生

小 6

家族で公園へ、  
会を見に出かけます

(8月10日締切)

小学部小筆課題

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

海べの風  
ながれ星

・半紙半分を書いて下さい

読み|| 岩いはの間に砂すなすこしありて清水しみずわく  
季語|| 「清水」

山路の岩と岩との間に清水がわいている。みると底に砂が少しあり動いている。砂の下から湧いているようだ、の意。清澄な清水のさまが表われた句。

主幹 菅野翠濤

(8月10日締切)

支部名

段級

名

前

砂す  
ありて清水わく  
岩の間に

・半紙半分を書いて下さい

# 平成26年後期昇段試験要項

左記により平成26年後期昇段試験を施行いたします。

\* 作品締切 ・ 漢字 仮名部 9月13日(土)

・ 実用文 細字 硬筆部 9月27日(土)

## ◎ 漢字部 臨書課題

### ◆ A部 六段・五段に応試(用紙・聯落 $\frac{1}{4}$ つき)

楷書 牛櫛造像記 P・26参照

行草書 米芾・蜀素帖 P・26参照

隸書 鄧石如・隸書崔子玉座右銘 P・27参照

### ◆ B部 四段・三段に応試(用紙・謙慎サイズ40cm×160cm)

楷書 元楨墓誌銘 P・27参照

行草書 董其昌・行草書卷 P・28参照

隸書 曹全碑 P・28参照

### ◆ C部 二段に応試(用紙・半切)

楷書 歐陽詢・九成宮醴泉銘 P・29参照

行草書 王羲之・集字聖教序 P・29参照

隸書 曹全碑 P・30参照

### ◆ D部 初段に応試(用紙・半切)

楷書 歐陽詢・九成宮醴泉銘 P・30参照

行書 王羲之・蘭亭序 P・31参照

※級から級への受験者はD部に応試のこと。

## ◎ かな部

### ◆ A部 六段・五段に応試

(イ) 聯落 $\frac{1}{4}$ つき以内「たて」に揮毫

夕顔の花ほの白くたそがれて清しと思ふ月立ちにけり

(ロ) 全懷紙「たて」に揮毫

今さらに山へかへるなほととぎすこゑのかぎりはわが宿になけ

(ハ) 古典臨書(揮毫部分は任意)

「小島切」を半紙半分相当(たて)に書く

### ◆ B部 四段・三段に応試

(イ) 聯落 $\frac{1}{4}$ つき以内「たて」に揮毫

夏に入る青草山のふもとよりけぶりのぼれりよき朝げかな

(ロ) 半切 $\frac{1}{2}$ 「たて」に揮毫

滝の上に水現れて落ちにけり

(ハ) 古典臨書(揮毫部分は任意)「関戸本古今集」7～8行相当(たて)に書く

### ◆ C部 二段・初段に応試

(イ) 半切「たて」に揮毫

よられつる野もせの草のかげろひて涼しく曇る夕立の空

(ロ) 古典臨書(揮毫部分は任意)

「高野切第一種」を4～5行相当(たて)に書く

※級から級への受験者はC部に応試のこと。

◎実用文

半紙タテ書き。落款は行書又は草書

◆A部（準三段以上に応試）

唐太宗は唐の第二代の皇帝です。王羲之の特に蘭亭序を酷愛して多くの書人に模本を作らせましたが、真跡は遺言によって太宗と共に埋葬されてしまいました。

◆B部（二段以下に応試）

八分とは隸書の一つで、破磔（横画の右払いで波の様に見える線の事）を持つものです。破磔のないものは古隸と呼ばれています。

◎細字部

半紙横書き、落款は楷書・旧漢字使用

（初段受験の方は楷行草の三体、準二段以上受験の方は楷行草隸の四体を揮毫して下さい。）

知章騎馬似乗船 眼花落井水底眠

※級から級への受験者は草書までを揮毫のこと。

◎硬筆部

◆A部 六段・五段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）  
風信帖は空海が最澄に宛てた手紙三通のことで、第一通の始まりが風信雲書とあるのでこう呼ばれます。四十歳前後に書かれたもので、空海の作品で最も有名で優れたものです。

◆B部 四段〜準二段に応試

本院定型用紙に楷・行・草別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）  
筆の鋒先から紙面に加わる力のことを筆圧と言います。この圧力が強いと線は深く厳しくなり、弱いと甘く浅くなっています。

◆C部 初段に応試

本院定型用紙タテ半分に、楷・行別葉に揮毫のこと。（書風は自由・落款は各体に書く。）

※級から級への受験者はC部に応試のこと。半切は条幅の形式として最も一般的なもので、半折とも書きます。

◎昇段試験 実物大手数料・応試料

科目	種別	六〜準五段を受験	四〜準三段を受験	二〜準二段を受験	初段を受験
漢字	手本料 (1書体)	5,000	3,500	2,500	2,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
かな	手本料 (1セット)	8,500	7,500	6,000	6,000
	応試料	4,500	4,000	3,500	3,000
硬筆	手本料 (3書体)	7,000	6,000		3,000 (2書体)
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
実用文	手本料	2,000		1,500	
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000
細字	手本料	2,500			2,000
	応試料	3,500	3,000	2,500	2,000

※合格者には段級証明書を発行します。

※手本希望の方は手本代と返送用封筒（切手添付）を同封して直接希望の師範へ依頼して下さい。

※揮毫した師範は一回限り無料添削の義務あるものとし、二回以上添削希望の者はその師範の指示に従って下さい。

※漢字作品出品の際、提出作品を、楷・行草・隸の順に重ね、一番上の作品の左下に鉛筆で支部名・現在の段級・姓号を記入して下さい。（仮名作品はそれぞれに鉛筆で記入）

※バーコード出品券だけを一枚貼り付けて下さい。

後期昇段試験課題 (六段・五段)

楷書 牛欄造像記 (北魏・作者不詳)

彌勒像一區願牛欄捨於分段  
之鄉騰遊无礙之境若存生生  
於天上諸佛之所若生

中国法書選20 P 4 / 5

彌勒像一區願牛欄捨於分段之鄉騰遊无礙之境若存託生生於天上諸佛之所若生 (33字)

行草書 米芾集より蜀素帖「重九会郡樓」(宋・米芾)

中国法書選48 P 7 / 8

山清氣爽九秋天黃菊紅葉滿  
泛舟千里結言寧有後群賢畢  
至猥居前杜郎閑客今焉是

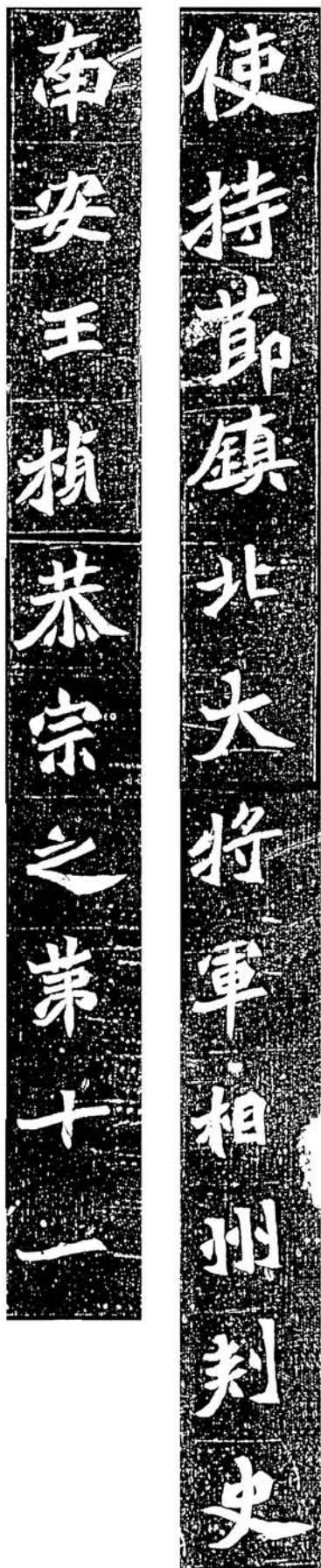
山清氣爽九秋天。黃菊紅葉滿泛舟。千里結言寧有後。群賢畢至猥居前。杜郎閑客今焉是。(35字)



後期昇段試驗課題

(四段・三段)

(六段・五段)

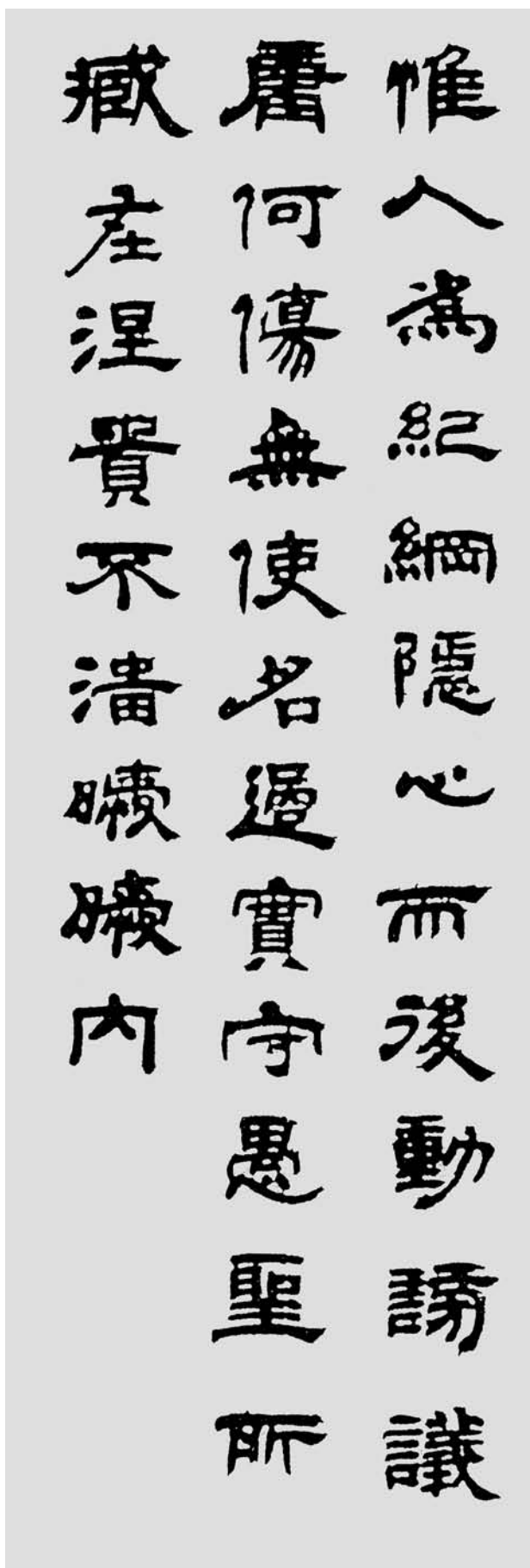


使持節鎮北大將軍相州刺史南安王楨。恭宗之第十一（22字）

楷書 元楨墓誌銘（北魏・作者不詳）

惟人爲紀綱。隱心而後動。謗議庸何傷。無使名過實。守愚聖所臧。在涅貴不淄。曖曖內（33字）

中国法書選25 P 2



隸書 鄧石如・隸書崔子玉座右銘（清）

中国法書選56 P 38 / 54

後期昇段試驗課題 (四段・三段)

行草書 董其昌「行草書卷」(明)

廓然無聖。闕扨無多。刹那即證。  
措思成魔。金雞報曉。香象度河。

廓然無聖。闕扨無多。刹那即證。措思成魔。金雞報曉。香象度河。(24字)

隸書 曹全碑(後漢・作者不詳)

姓緇負反者如雲。戢治廡屋市肆。列陳風雨時節。歲獲豐年。

姓緇負反者如雲。戢治廡屋市肆。列陳風雨時節。歲獲豐年。(23字)

中国法書選 8 P 23

中国法書選 51 P 5 / 6

後期昇段試驗課題 (二段)

楷書 九成宮醴泉銘 (唐·歐陽詢)

我享其功者也然昔之池  
沼咸引谷澗宮城

中国法書選 31 P 18

我享其功者也然昔之池沼咸引谷澗宮城 (17字)

行草書 集字聖教序 (東晉·王羲之)

皇帝在春宮述三藏聖記夫  
顯揚正教非智無以

中国法書選 16 P 18

皇帝在春宮述三藏聖記夫顯揚正教非智無以 (19字)

後期昇段試驗課題

(初 段)

謂至人無為大聖不作  
彼竭其力我享其

謂至人無為大聖不作彼竭其力我享其 (16字)

楷書 九成宮醴泉銘 (唐·歐陽詢)

中国法書選 31 P 18

(二 段)

存亡之敬禮無遺闕是  
以鄉人為之諺曰重

存亡之敬禮無遺闕是以鄉人為之諺曰重 (17字)

隸書 曹全碑 (後漢·作者不詳)

中国法書選 8 P 10

行書 蘭亭序（東晋・王羲之）

二足以暢叙幽情是日也  
 天朗氣清惠風和

亦足以暢叙幽情是日也天朗氣清惠風和（17字）

中国法書選15  
P 15

### 夏期講習会

▲会場 亀田市民会館（駐車場有）

▲日時 八月二十四日（日） 九時開場

▲申込締切 八月二〇日（水）

▲会費 五〇〇〇円

\*昇試、段級に関わらずどなたでも参加可。

\*研究部を除く各部共後期昇段試験の勉強会になります。用具は各自持参。個人会員、適正な指導者のいない支部の方は積極的に参加下さい。

\*研究部は半切・半紙を持参の事。又、各展覧会出品予定・出品後の作品

あれば『作品鑑賞会』も予定しております。

\*仮名部の研究部も受け付けます。

\*昼食は参加申込と一緒に事前予約のみとします。

#### 講習会担当講師

総括	田辺 玉翠
----	-------

研究部	菅野 翠濤	大井 岳陵	
漢字 A	大井 岳陵	大越 三宗	渡辺 南嶂
漢字 B	和泉 千泉	鈴木 翫恵	田中 奎堂
漢字 C・D	山田 翠阜	青柳 江雲	田邊 翠鶴
仮名部	船久保棠苑	若月久美子	